

# 調査・研修等計画届出書

令和2年11月10日

瀬戸市議会議長 様

議員名 柴田 利勝



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

## 記

期 日	令和 2年 11月 18日	
調査先・研修名	ふじのくに地球環境史ミュージアム	
会場名 (会場所在地)	静岡県駿河区大谷 5762 番地 静岡市	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	にじの丘学園の開校に伴い発生した小学校跡地の有効活用の検討を行うにあたり、先進事例の1つである、県立高校を改築した「ふじのくに地球環境史ミュージアム」の視察を行うもの。	
議長名の依頼	<input checked="" type="checkbox"/> 要 ・ 不要	依頼先 (名称)
		ふじのくに地球環境史ミュージアム 館長 安田 喜憲
同行者名	瀬戸市議会議員 三木 雪実・山田 治義・水野 良一 小澤 勝・西本 潤・	

※行程表を添付してください。

# 調査・研修等報告書

令和2年11月26日

瀬戸市議会議長 様

議員名 柴田利勝



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

## 記

期 間	平成 2 年 11 月 18 日
調査先 研修先	静岡県静岡市駿河区大谷 5762 ふじのくに地球環境史ミュージアム
調査項目 または 研修内容	本市のにじの丘学園の開校に伴いその跡地の有効活用について検討する事にあたり、先進事例である、静岡南高等学校跡地を改装した「ふじのくに地球環境史ミュージアム」について調査研究を行った。
静岡県立静岡南高等学校跡を利用した施設であり、地上3階建築面積：3,569㎡、延べ床面積9,334㎡、人員14名駐車場普通車200台、大型バス6台、施設整備費12億円である。約90万点の収蔵品を用い、過去を読み解き現在を知り、人と自然が共存する未来を描く、その様な考えのもと静岡県新総合計画に「博物館構想の推進」を位置づけた。 有識者との懇談会での意見を基に、博物館のテーマを「自然系」としたものである。	

地域の自然環境を明らかにする調査研究を行い、自然の歴史や環境の変化を把握し、集めた資料の新たな価値を発見、その価値を高め、展示や教育、情報発信へ反映するとともに、調査研究の成果を国際的な学術誌等へ論文発表や、著書による一般への普及を前提に活動を行う。

人が生まれた時からの人の行方をどう考えるか、人と現在の歴史を紐解き私たちの人類の未来を考える。人類の歴史は自然に寄り添いながら生き、森を生かし、森と生き、自然を活かし利用する時代、森を切って自然を開発。森を管理、木を植える時代、自然を変え支配する時代、森を忘れて能力が生きる時代へと変わってきた。このように自然の実態や成り立ち、人と自然の関わり方の歴史とその変化、郷土の生物多様性、地球環境リスクなどを紹介するとともに、来館者と未来のあり方を考える常設展示を開催する。また、ミュージアム単独の企画や外部機関との共催による企画展を計画的に開催している。

所感

質問=Q, 当館でそれぞれのジャンルのについての研究者や外からの専門家や研究者の状況は？

A, それぞれのジャンルについて研究しているし、外からの専門的知識者や研究者からの問い合わせもある。

Q, 地元との関係は発足前と開館後の状況は？

A, 跡地利用に関してはむしろ歓迎されている、特にバスの運行などはメリットとなっている。

以上のように施設としては大変有効に運営されていて静岡としてのイメージアップに繋がっているのではないかと。今後瀬戸市として国や県とも連携を取りながら地元とも話し合いを続けながら。跡地利用意義あるものとしていくべきである。

# 行程表

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
2 年 11 月 18 日	瀬戸市役所前	名鉄	往復	大曾根	14.8	km	820	円	円
	名古屋	新幹線	往復	静岡	185.8	km	12,540	円	円
								円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

13,360 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
年 月 日						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

小計 0 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
年 月 日						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

バック等による割引など

小計 0 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

0 円

13,360 円

申請額合計  
(宿泊費+交通費-割引代)

13,360 円



# ふじのくに地球環境史ミュージアム

## Museum of Natural and Environmental History, Shizuoka



展示室3「ふじのくにの海」

### 百年後の静岡が豊かであるために

静岡県初の県立自然系博物館「ふじのくに地球環境史ミュージアム」は、平成28年3月に開館しました。高校校舎を改修し、かつて生徒が使っていた学校机や椅子を活かした展示は、新時代の展示のあり方として評価され、国内外の空間デザイン賞を受賞しました。〔DSA日本空間デザイン賞2016〕大賞、「The Best in Heritage 2019」に日本代表館として選出ほか「地球環境史」とは、人と自然の関係の歴史のことです。ミュージアムは約90万点の収蔵品を用いて、過去を読み解き、現在を知り、人と自然が共存する未来を描きます。

### 思考を拓くミュージアム

10の常設展示室には、ふじのくにの海、大地などのテーマに沿って、収蔵資料の中から厳選された動植物の標本や化石が並びます。

本をじっくり見ていただくため、あえて解説文は控えめに、ラベルは小さめにしました。疑問が浮かんだら、ぜひスタッフにお尋ねください。「考える」を楽しみながら、これからの豊かさのかたちを探してみましょう。



展示室4「ふじのくにの大地」



展示室9「ふじのくにと地球」

### Tickets 常設展観覧料

個人	団体 (20名以上)
300円	200円

観覧料割引等の特典が付いた「ふじミュージアムメンバー」を募集中です。詳細はホームページをご覧ください。

学生(大学生以下)の方\*1  
70歳以上の方  
障害者手帳をお持ちの方\*2

無料

\*1学生証、免許証、保険証等の証明書を御提示ください。  
\*2身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその付添者1名は無料となります。

観覧料の入館は無料です。  
展示室1、2、キッズルーム、図書カフェが御利用いただけます。



### Access アクセス

〒422-8017 静岡市駿河区大谷5762  
(旧 県立静岡南高校)

- 《自家用車でお越しの場合》
- ナビでお越しの際は、住所で検索してください。
- 東名高速道路日本平久能山スマートICから5分
  - 東名高速道路静岡ICから15分
  - JR静岡駅から20分  
国道150号バイパスから「大谷放水路東」を左(右)折し、消防署前交差点を右折してください。
  - 駐車場 無料(200台)
- 《公共交通機関でお越しの場合》
- JR静岡駅北口バスターミナル  
8-B番乗り場から美和大谷線  
「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行き(30分)で終点下車